

**Q** 現状と対策を伺う。

**A** 駆除頭数は2日現在で22頭、対応をマニュアル化している。**★ガバメントハンター**導入は検討するが、基本的には猟友会と協力し対策を講じる。

### 米価高騰対策

**Q** 米価に対する認識を伺う。

**A** 生産者的にはコストを含め消費者離れを招かない価格が望ましい。中山間地域は生産原価が高いため、相場より高い価格設定が望ましい。



山間地の稲刈り状況

**武藤 元美 議員の質問**

小中学校で、給食の無償化を

**Q** 国は、来年度から小学校限定で学校給食無償化の実施を決めた。育ち盛りの中学校についても、市として無償化を進めてはどうか。

**A** 給食費の無償化には中学校分で約2億円が必要。市単独で給食費無償化は考えていない。

**Q** 国に対し、給食の質の担保と、物価高騰分の財政負担を自治体に求めないことを「義務教育は無償」と国に要望してはどうか。

**A** **★ナショナルミニマム**として国が措置すべきであり、要望していく。

### 地域医療再編後の医療体制について

**Q** 県央の医療再編で、郊外の済生会新潟県央基幹病院に救急搬送後、入院不要の場合は自力での帰宅が必要だ。運転手不足もあるが、タクシーがつかまらないことで帰宅困難とならない方策を講ずるべきだ。

**A** 帰宅の手段等については、夜間も含め、基本的には各医療機関で対応するべきことだ。

### 個人の尊厳を守る終活支援について

**Q** 単身世帯、高齢者のみの世帯が増

### 熊対策の強化について

**Q** 人間の生活圏と熊の生息域が同じになってきているのではないか。三条市でも対策が待ったなしで必要だと思ふ。また、市職員で狩猟組織をつくることは可能かどうか。見解を伺う。

**A** 捕獲による個体数管理と緩衝帯整備等を総合的に進めていくことが重要と考えている。**★ガバメントハンター**は市の鳥獣対策全体の中で検討したい。

**内山 信一 議員の質問**

### 高齢者の孤独、孤立について

**Q** 高齢者の実態把握および孤立防止対策はどのように実施しているか。また、高齢者への接し方などに関する講座を開催してはどうか。

**A** 高齢者の実態把握については、民生委員等が行っており、孤立防止対策については、高齢者見守り事業や介護予防教室を実施している。講座については、認知症サポーター養成講座等を実施している。

### 柏崎刈羽原発再稼働容認について

**Q** 地元紙の報道で、原発技術者有志

が「柏崎刈羽原発6号機は構造的欠陥があり、再稼働させてはならないと県に要望した」とあったことについて、また再稼働となった場合の市民への対応について伺う。

**A** 要望書は県に提出されたもので、詳細を把握していないため市としての見解は差し控える。三条市原子力防災ガイドを全世帯に配布し、必要な情報を事前に周知している。

**岡田 竜一 議員の質問**

### 歴史民俗産業資料館および別館のさらなる有効活用について

**Q** 三条市は、古くから**★文人墨客**を出してきた町であり、市内には多くの芸術文化愛好者がいる。こうした市民の皆さまから、日頃の活動の発表の場として積極的に活用いただくことで、より両施設の価値が上がり、市民に親しまれる施設になる。歴史民俗産業資料館「れきみん」と別館「ほまれあ」の展示スペースをより使いやすい形で市民に提供すべきと思うが、市の見解を問う。

**A** 必要に応じて展示に対するアドバイスなどをしていく。

えている。安心して最期を迎えられる仕組みを市として考える必要がある。他市では、「エンディング・サポート事業」、生前に終活関連情報を市に登録する「終活登録事業」を始めている。市も取り組んではどうか。

**A** 終活関連情報の登録や提供の仕組みなど関係者と研究したい。

**燕 幸男 議員の質問**

### 浄化槽と下水道の現状と課題について

**Q** 国は、人口密度の低い、家屋の少ない周辺部では合併処理浄化槽への転換を含め、地域特性に応じた選択を行えるよう支援していくと発表している。市は汚水処理計画を策定する際、災害などの課題に対応した持続可能な汚水処理行政を考えてはどうか。

**A** 平成29年2月に汚水処理施設整備構想を策定。地域ごとに下水道等による集合処理と合併浄化槽による個別処理のいずれが経済的であるか検討し、区域を改めて設定した。策定から10年が経過する令和9年度には中間評価を実施する予定である。

### 熊対策について

### 三条市に対する住民訴訟について

**Q** 以下の内容に対してどう思うか。  
・3人の裁判官の合議にて原告側要求の3人の証人尋問が決定したことについて

・陳述書によると、当案件を三条市は民間企業からの提案を受けた「一方ワンテーブルは三条市からお声掛けを頂いた」とあることについて

・三条市はオリンピック・パラリンピック首長連合を通じてワンテーブルの存在や事業内容を知った、とあるが、コンサルタントの島田氏や事務局の樋渡氏からの働き掛けや首長連合会長だった國定氏の意向について

・ワンテーブルには既に都内等でヘルスツーリズム事業の実績があること、三条市が本事業の委託事業者に求める要件を満たす事業者が他に確認できなかった、とあることについて  
・ワンテーブルに責任はなく委託先のコレにあるとの認識について  
・決算が認定されればあらゆる異議申し立ては不可ともいえる認識について

**長橋 一弘 議員の質問**

ど、身近に芸術に触れる機会の創出を幅広く検討していく。

**Q** 出没が12月2日現在で過去最多の138件確認された。人身被害防止の対策はどうか。

**A** 通学バスの運行範囲の拡充、防災行政無線放送やメール、SNSでの出没情報の発信、不要果実の受け入れ、出没誘引物の除去推進や捕獲の強化に取り組んでいる。

### ★RSウイルス感染症について

**Q** 乳幼児と高齢者が感染し重症化すると肺炎を引き起こす。予防するワクチンは任意接種で全額自己負担。子育て世帯や高齢者に対して接種費用を補助してはどうか。

**A** 国は、母子免疫ワクチンの定期接種化を令和8年度から実施する方針で検討。高齢者への助成は予定していないが、国の動向を注視していく。



RSウイルス感染症に注意しましょう  
(厚生労働省ホームページより)